

8月も異常な暑さが予想されます！

水稻の高温対策を 実施しましょう！

令和6年8月2日
埼玉県農業技術研究センター

水稻の生育状況

高温の影響により早植栽培（5月植え）、普通期栽培（6月植え）ともに茎数が多く生育量も大きいことから、窒素が不足して葉色の低下しているほ場が目立っています。

また、早植栽培では出穂が平年より5日程度早まっています。

今後の見通し

8月1日気象庁発表の1か月予報では、気温がかなり高くなると予報されています。高温の影響により出穂や登熟が早まると予想されます。また、出穂後20日間の平均気温が27℃を上回ると、白未熟粒が発生する危険性が高まります。

対策

出穂前の葉色
低下に注意！！

1 葉色確認と穂肥

白未熟粒の発生を軽減するため、葉色診断に基づく適期・適量の穂肥を行いましょう。基肥+追肥体系でも基肥一発体系でも、穂肥施用②の時期（出穂15～10日前）に葉色が4を下回った場合、必ずチッソ成分で2kg/10a程度の追肥を行いましょう。
彩のかがやき穂肥施用②の目安：裏面参照

2 水管理

出穂期前後1週間は湛水状態を保ちます。その後は根の活力維持や地耐力の向上を図るため、間断かん水を行いましょう。玄米の肥大が完了するのに出穂期後30日程度要するため、土壌水分を保ち、早期落水は行わないようにしまししょう。

3 収穫

高温の影響により、登熟が早く進み収穫期の前進が予想されます。玄米の成熟よりも帯緑色粃の減少が遅れることがあるため、粃水分に注意して収穫を開始し、刈り遅れないようにしまししょう。各品種・移植日ごとの収穫時期：裏面参照

農作業中の熱中症にご注意ください。

【参考】「彩のかがやき」の出穂期予測から推定する栽培管理の目安（予測日：7月30日現在）

田植日	出穂期	穂肥②	畦畔雑草刈取晩限	イネカメムシ防除①	イネカメムシ防除②
		出穂前10～15日	出穂期2週間前まで	出穂期～穂揃期（不稔対策）	出穂期の7～10日後（斑点米対策）
5月15日	8月8日	7月24日～7月29日	7月25日	8月8日～8月11日	8月15日～8月18日
5月25日	8月13日	7月29日～8月3日	7月30日	8月13日～8月16日	8月20日～8月23日
6月5日	8月17日	8月2日～8月7日	8月3日	8月17日～8月20日	8月24日～8月27日
6月15日	8月21日	8月6日～8月11日	8月7日	8月21日～8月24日	8月28日～8月31日
6月25日	8月23日	8月8日～8月13日	8月9日	8月23日～8月26日	8月30日～9月2日

【参考】各品種・田植日ごとの出穂期予測から推定する収穫期の目安（予測日：7月30日現在）

品種	田植日	出穂期の目安	収穫期の目安 (出穂期後予測積算気温より)
キヌヒカリ	5月5日	7月19日	8月22日～8月29日
	5月15日	7月24日	8月27日～9月4日
	5月25日	7月31日	9月3日～9月11日
彩のきずな	5月5日	7月21日	8月21日～9月1日
	5月15日	7月26日	8月26日～9月7日
	5月25日	8月2日	9月2日～9月13日
コシヒカリ	5月5日	7月22日	8月24日～8月31日
	5月15日	7月28日	8月30日～9月7日
	5月25日	8月3日	9月6日～9月13日
えみほころ	5月5日	7月28日	9月1日～9月5日
	5月15日	8月1日	9月5日～9月9日
	5月25日	8月7日	9月12日～9月17日
彩のかがやき	5月5日	8月3日	9月4日～9月12日
	5月15日	8月8日	9月10日～9月18日
	5月25日	8月13日	9月17日～9月26日

高温の影響により、出穂や登熟が早まると予想されます。刈り遅れは胴割米や茶米の発生を助長し、品質を低下させます。また、早生品種では出穂がばらつき、長期間化しています。

「収穫期の目安」を参考に、籾水分を確認し25%になったら収穫を開始し、刈り遅れとならないように注意しましょう。

※出穂期や収穫期の目安は、7月30日現在の熊谷地方気象台の気温データ（予測日前日までの観測データ、予測日以降の予測データ）を基に農技研作成の農作物発育予測プログラムで算出したものであり、今後の気象状況により前後することがあります。